

一の沢川河口部で樋門工事をしています

山元町坂元の一の沢川河口部において樋門工事を実施しており、コンクリートでできた本体部分が完成しました。今後、樋門の扉や操作室が設置され、周辺の海岸堤防と一体となり、樋門としての機能を発揮することとなります。

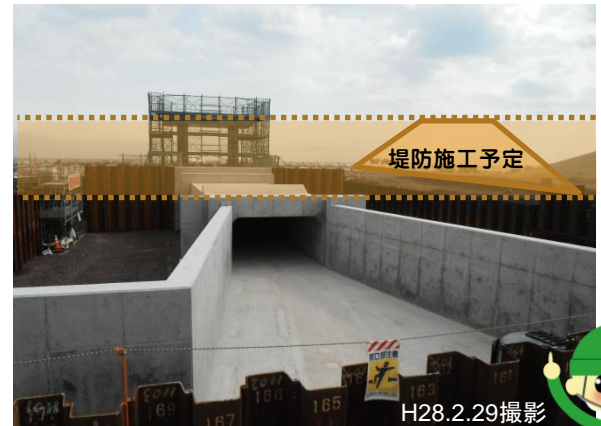
なお、扉の開閉については山元町役場からの遠隔操作で行われる予定です。



H28.2.29撮影

樋門（海側）

本体部分が完成しました



H28.2.29撮影

樋門（陸側）

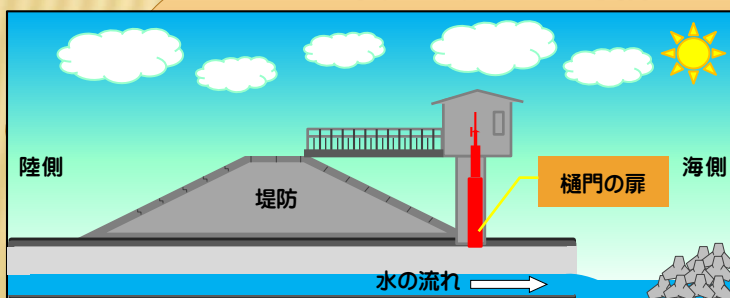
樋門とは？

樋門は、排水や雨水、川の水などを堤防の中を通し、下流へ流すために設置される施設です。

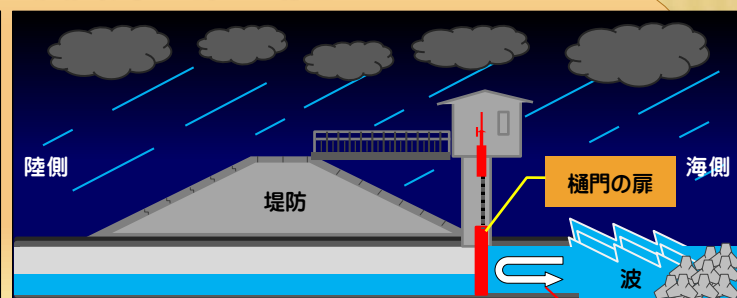
平常時など水面が低いときは、樋門の扉は開いています。台風などの影響で水面が高くなると上流へ水が逆流してしまうので、樋門の扉を閉めます。

水面が低くなり逆流の心配がなくなったら、樋門の扉を開け、水路に貯まった水を流します。

～イメージ図で比較【一の沢川河口部の場合】～



平常時（開いている）



波浪時（閉めている）

逆流を防ぐ